

教委だより

No.432



令和3年7月13日

編集発行 富山県教育委員会
 発行人 教育企画課長



辞令を受け取る高川妙恵教諭



辞令を受け取る金澤佳緯教諭



宣誓を行う坂本萌里教諭



教育長の訓辞

新規採用教職員364名に辞令交付

県の新規採用教職員辞令交付式が3月31日(水)に富山県教育文化会館で行われ、364名が教職員としての第一歩を踏みだしました。

式では、代表者の高川妙恵教諭(小矢部市立津沢小学校)と金澤佳緯教諭(上市高等学校)が辞令を受け取った後、坂本萌里教諭(入善高等学校)が「全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行する」と宣誓しました。

伍嶋教育長(当時)は、「情熱と慈しみの心を持って、一人ひとりの子どもと向き合い、子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばしてあげてほしい」と訓辞しました。

Contents (主な内容)

- 新規採用教職員辞令交付式 1p
- 就任のあいさつ 2p
- 新任室課長のあいさつ 2p
- 令和3年度富山県立高等学校定時制入学者選抜について 2p
- 第2期富山県教育大綱の概要 3p
- 「富山県教育DX推進会議」の設置について 4p
- 「高志の国文学」情景作品コンクール作品募集 4p
- 放送大学教員免許更新講習受講生募集 4p
- 総合教育センターNOW 5p
- とやま科学オリンピック2021 6p
- 親子でチャレンジ体験教室 6p
- 令和4年度富山県公立学校教員採用選考検査の実施について 6p
- 「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施」について 7p
- みんなで食育の充実を 8p

令和3年度 採用状況

◆教員(養護教諭9名、栄養教諭2名を含む)	354名
小学校	175名
中学校	92名
義務教育学校	3名
高等学校	38名
特別支援学校	46名
◆実習助手	9名
◆寄宿舎指導員	1名
◇合計	364名

- ストレスチェックについて 8p
- 東京2020オリンピック聖火リレー 富山県点火セレモニー 8p
- 富山県民謡舞大会「ふるさと民謡舞まつり」 9p
- とやまのユネスコ無形文化遺産サミット 9p
- インフォメーション 9~10p
- 埋蔵文化財センター出前講座・来館学習
- 令和3年度放送大学10月入学生募集
- 埋蔵文化財センター特別展「珠・玉・球—私たちが魅了する たまとは—
- 県生涯学習カレッジ本部第33回県民カレッジ学遊祭
- 県生涯学習カレッジ富山地区センター令和3年度県民カレッジ富山地区センター学遊祭
- 県生涯学習カレッジ新川地区センター第21回新川キャンパスフェスティバル
- 県生涯学習カレッジ高岡地区センター令和3年度ウイング・ウイング祭
- 県生涯学習カレッジ砺波地区センター第21回となみキャンパスフェスティバル
- 学校レポート(富山市立鷺坂小学校) 11p
- 第38回「とやま賞」贈呈式 12p
- リレーエッセイ(教育参事・県立学校課長) 12p

就任のあいさつ



未来を生きる富山の子どもたちのために

教育長 荻布 佳子

このたび教育長を拝命しました荻布佳子です。重責を担うこととなり身の引き締まる思いですが、富山県教育のよき伝統を受け継ぎつつ、さらなる充実発展につなげられるよう、誠心誠意務めてまいります。

今、社会は、少子高齢化や人口減少の進行、デジタル化等の技術革新やグローバル化など急速な変化の中にあります。こうした中、教育には、予測できない社会の変化にも対応していける資質・能力を育成することや、グローバル人材、地域を担う人材の育成など、多くの期待が寄せられています。

コロナ禍と言われる難しい時期ですが、こうした時であるからこそなおのこと、子どもたちが自己肯定感や周囲との信頼感を育み、日々安心して生き生きと学べること、その上に各々の個性や能力を存分に伸ばすことのできる充実した教育活動が行われ、生涯にわたり自らの人生を切り拓き社会の発展を担っていく確かな力を身につけられることを目標に据え、全力で取り組んでまいります。

市町村、関係機関・団体や家庭、地域の皆様と連携しながら、未来を生きる富山の子どもたちのため、最善の教育環境を提供できるよう、また、生涯学習の振興、文化財の保存活用等も含めた幅広い所管分野の施策を着実に推進するよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

新任室課長のあいさつ



今の時代だからこそ“不易と流行”

小中学校課長 水戸 英之

1人1台端末が整備され、いよいよ学校教育におけるICT時代が訪れました。こうした教育改革の流れの中にあるからこそ、改めて教育の不易と流行について考えることが必要であると考えています。新たなものに流されず、本質の部分をしっかりを見据えて、新たな流れをうまく取り込みながら、効果的な教育指導を展開していくことが必要です。

さて、小中学校課では、こうした新たな流れへの対応をはじめ、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸課題、幼児教育の充実、学力向上への支援など、学校教育の充実に向けて、様々な研修を計画するとともに、人的支援の充実に努めています。

今年度も、今日的な課題にしっかりと対応し、子どもたちが、高い意志をもち、困難を乗り越え、自ら未来を切り拓いていく力を身に付けられるよう、取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

秋入学のチャンスがあります! 定時制高校

令和3年度富山県立高等学校定時制の課程(単位制後期)入学者選抜について

1. 実施校 新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校、となみ野高等学校
2. 志願期間 9月1日(水)から9月3日(金)までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。
ただし、9月3日(金)は正午までとする。
3. 検査実施期日 9月10日(金)
4. 合格者の発表 9月14日(火) 午後0時30分
5. 連絡先 県立学校課 高校教育係 TEL (076) 444-3450 内線4615

第2期富山県教育大綱について

AIやIoT等の技術革新やグローバル化の進展、人生100年時代の到来、さらに新型コロナウイルスの感染拡大等による社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）加速化など、教育を取り巻く環境は刻々と変化しています。これらの変化に柔軟かつ適切に対応するため、総合教育会議における協議を経て、令和3年3月、「第2期富山県教育大綱」が策定されました。県教育委員会では、大綱に掲げられた、新たに取り組むべき3つの横断的な取組みや10の重要テーマを踏まえ、「とやまの新しい教育」を創造し、「真の人間力」を育む本県ならではの質の高い教育を創りあげていきます。

第2期 富山県教育大綱の概要

策定の趣旨	<p>この富山県教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の3第1項の規定に基づき、富山県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の基本的な方針を定めるものです。</p> <p>また、「富山県教育振興基本計画」は、この大綱の内容に即したものとします。</p>
対象期間	令和3（2021）年度 から 令和7（2025）年度まで 【5年間】
基本理念	ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成 — 真の人間力を育む教育の推進 —

3つの
横断的な
取組み

- 技術革新やグローバル化など社会の変化に対応できるよう「課題解決型の教育」の展開
- 社会全体のDX加速に応じた教育環境のデジタル化による「ICT教育」の推進
- 地域社会とつながる、教え合い学び合う協働的な学び「チーム富山教育」の実現

技術革新やグローバル化など、変化の激しい予測困難な時代に柔軟かつ適切に対応できるよう、目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、解決策を生み出す資質・能力が強く求められています。

このため、これからの本県の教育においては、こうした社会の変化に対応できる「課題解決型の教育」の展開や社会全体のDX加速に応じた「ICT教育」の推進、地域社会と連携した「チーム富山教育」の実現を目指して、次世代を担う子どもたちが社会に出て活躍できる力を育める最高の環境を与え続けていくことが必要です。

9つの基本方針

3つの横断的な取組み

9つの基本方針

- 1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援
- 2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進
- 3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進
- 4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実
- 5 生涯を通じた学びの推進
- 6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり
- 7 次世代を担う子どもの文化活動の推進
- 8 スポーツに親しむ環境づくりの推進
- 9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生

<10の重要テーマ>

- (1) プロジェクト学習（PBL）の推進
- (2) ICTを活用した教育の推進
- (3) キャリア教育の推進
- (4) 働き方改革の推進
- (5) 不登校児童生徒の教育機会の確保
- (6) 少人数教育の推進
- (7) 幼児教育、特別支援教育の充実
- (8) 高等学校の特色化・魅力化
- (9) 外国人児童生徒教育の推進
- (10) データサイエンス教育の推進

3つの横断的な取組み

「富山県教育DX推進会議」の設置について

新型コロナウイルス感染拡大の影響などもあり、学校では、昨年度よりネットワーク環境の整備や1人1台タブレット端末の配備など、デジタル環境の整備が急速に進みました。今後は、デジタル環境の整備に加え、それらを活用して、児童生徒の力を最大限に引き出すとともに、業務の効率化など教育現場の負担軽減等を図っていく必要があります。

県教育委員会では、今年度「富山県教育DX推進会議」を設置し、民間の発想や外部有識者のアドバイスを取り入れながら、教育のDXを総合的・計画的に推進していきます。

また、この会議の下に、関係室課や学校の教職員らで構成する「ICT環境整備部会」、「ICT活用推進・指導力向上部会」、「校務支援システム検討部会」の3つの部会を設置し、学校現場の課題や意見等を十分に聞きながら検討を進めてまいります。

※ DX…ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念



イラスト出典 文科省HP「学校のICT環境を整備しましょう！(教育のIT化に向けた環境整備4か年計画(平成26~29年度))」

時代を生きた先人のころをあなたの感性で表現しよう

令和3年度「高志の国文学」情景作品コンクール 作品募集

- ①文芸部門 (散文・詩・短歌・俳句)
- ②美術部門
- ③写真部門

美しく豊かな富山の自然や風土の中で育まれた富山ゆかりの「高志の国文学」に触れ、心に残る情景や心情を表現した中学生・高校生の作品を募集します。応募期間は6月14日(月)~9月3日(金)です。詳しい実施内容等については、募集要項や県のホームページをご覧ください。



昨年度 美術部門 知事賞
(中学生の部)
「絆」



昨年度 写真部門 知事賞
(高校生の部)
「生命の水」

放送大学 富山学習センター 教員免許更新講習 受講生募集

申込期間 10月25日(月) 15時~11月22日(月) 9時 (講習料/1科目6,000円)

受講期間 2月1日(火) 10時~2月18日(金) 17時
※更新に必要な30時間(栄養教諭除く)全てインターネットで受講可能

試験期間 3月3日(木) 10時~3月15日(火) 17時

申込方法 放送大学ホームページから申込

問合せ先 ☎0766-56-9230



◀申込はこちらからも
できます。



総合教育センター *NOW*

教育研修部

校内研修活性化研修会

コロナ禍でも、学びを止めない。それは、私たち教員の学びも同じです。その熱い思いを形にすべく、今年度の校内研修活性化研修会は内容のリニューアルを行いました。

「子供の事実をみる」を柱に、富山大学人間発達科学部 増田美奈先生をお迎えし、第1回の5月11日(火)には小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の先生が、第2回の5月19日(水)には富山大学教職大学院生も交えて、映像を活用した授業研究を行いました。

授業を「教室後方」「教室右前方」「左前方」の3方向から撮影した映像を同時に動かすことで、子供の姿を細かく捉えられるようにしました。また、場面を絞った10分程度の映像を視聴することで、短時間でねらいを絞った研修になるようにしました。参加者からは、「場面を切り取って子供の姿から話し合うことができ、勉強になった」「映像の撮り方や時間設定等、自分の学校に合う方法を工夫したい」などの声が聞かれました。

今後、各校で実践を行い、その成果をもって10月27日(水)に第3回の研修を行う予定です。授業者が観察者と協働してリフレクションを行い、誰もが意欲的に授業改善に取り組めるような校内研修になることを目指しています。



グループ演習より

科学情報部

科学技術教育普及活動「サイエンスカー訪問活動」

～楽しみながら学ぼう！観察・実験～

科学情報部では、科学技術教育普及活動の一環として「サイエンスカー訪問活動」を行っています。この活動は、希望する小学校を対象に、理科工作や観察・実験を行うものです。今年度も各種実験機材を積んだサイエンスカーが県内を走り、ユニークで楽しい活動を行います。

対象 児童数120名以下の県内小学校

期間 6月末から12月中旬

内容(例) (低学年) しゃぼん玉遊び、飛行機作り (中学年) しんきろうの世界、風船ホバークラフト作り
(高学年) 顕微鏡で見る世界、電気の利用



◀しんきろうの世界



電気の利用▶

教育相談部

本人や保護者、学校関係者からの相談をお受けします

- 富山県内の小学生、中学生、高校生を対象にしています。
- 発達に心配のある乳幼児についても相談をお受けします。
- 電話相談と来所相談があります。(来所相談は電話での予約が必要です)

月・金曜日 : 13:00~17:00

火・水・木曜日 : 9:00~17:00

E-mail : soudan@tym.ed.jp (受付のみ)

【学校生活等に関する相談(子ども育成)】

相談専用 TEL (076) 444-6167

不登校・学業・進路

- ・ 登校しぶりがある
- ・ 学校生活になじめない
- ・ 授業についていけない
- ・ 進路について悩んでいる
- など

【発達に関する相談(特別支援教育)】

相談専用 TEL (076) 444-6351

発達・学業・就学

- ・ 言葉が遅れている
- ・ 体の動きがぎこちない
- ・ 書くことに時間がかかる
- ・ 就学について悩みがある
- など



人間関係・気になる行動・家庭教育

- ・ 友達とトラブルになる
- ・ 生活態度や習慣が気になる
- ・ ゲームに依存している
- ・ 急に予定が変わるとパニックになる
- ・ 順番を待つのが難しい
- ・ 特定の物や事柄にこだわる
- など



とやま科学オリンピック2021

- ・ 中学校部門は8月7日(土) 魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校を会場として開催します。
 - ・ 高校部門は8月4日(水) 富山大学理学部、県総合教育センターで開催します。数学、物理、化学、生物から1分野を選んで取り組みます。
- 詳細は募集要項や県のホームページをご覧ください。



高校部門化学分野の様子



親子でチャレンジ体験教室



8月21日(土) 富山産業展示館(テクノホール)を会場として開催します。対象は小学校4～6年生(同年次の義務教育学校、特別支援学校)の親子です。今年度は「クリップモーター」を製作・体験する予定です。詳細は募集要項や県のホームページをご覧ください。



クリップモーター製作



「過去の問題」をぜひご覧になって、先生方も挑戦してみましょう！

令和4年度

富山県公立学校教員採用選考検査の実施について

たくましく生きる力を持った“富山の子ども”をはぐくむため、意欲と情熱のある人を求めています。

検査の概要

1. 受検区分

〔一般選考〕と〔特別選考〕(「社会人経験A」「社会人経験B」「教職経験」「特定資格」「国際貢献」「スポーツ実績」「障害者」「大学推薦」)

2. 今年度実施の教員採用選考検査の変更点

- ①特別選考「教職経験」「大学推薦」及び、従来的一般選考第1次検査一部免除者については、「第1次検査」の全てを免除します。
- ②特別選考「社会人経験B」の対象教科に「情報」を追加します。
- ③「情報」の受検資格要件を緩和します。
- ④「情報」以外的一般選考志願者について、「情報」の教員免許状の所有者を第1次検査の加点対象とします。
- ⑤中高の受検教科(科目)に「工業(化学工業系)」を追加します。
- ⑥特別選考「障害者」において別枠選考を導入します。
- ⑦特別選考「大学推薦」枠を拡大します。

3. 願書の受付期間

令和3年5月7日(金)～6月1日(火)(※今年度の願書受付は、終了しました)

4. 検査期日

第1次検査：令和3年7月17日(土)・18日(日)
 第2次検査：令和3年8月21日(土)・22日(日)

5. 採用予定人数

一般選考・特別選考合わせて330名程度(特別選考「障害者」若干名を含む)



★令和3年度 名簿登載状況

	小学校	中学校 高等学校	特別支援 学 校	養護教諭	栄養教諭	総計
受 検 者 数	263	394	58	60	2	777
1 次 合 格 者 数	249	248	36	18	2	553
名 簿 登 載 者 数	169	144	20	8	2	343

特集

「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施」について

性同一性障害とは、生物学的な性と性別に関する自己意識（性自認）が一致しないため、社会生活に支障がある状態とされます。

このような性同一性障害に係る児童生徒については、学校生活を送る上で特有の支援が必要な場合があることから、個別の事案に応じ、児童生徒の心情等に配慮した対応を行うことが求められています。

今回の特集では、「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）」（文部科学省周知資料 平成28年4月1日）のポイントをまとめました。各学校においては、教職員の適切な理解の促進を図っていただきますようお願いいたします。

<性同一性障害に係る児童生徒についての特有の支援>

ポイント1：学校における支援体制について

- ・性同一性障害に係る児童生徒の支援は、最初に相談（入学等に当たって児童生徒の保護者からなされた相談を含む。）を受けた教職員だけで抱え込むことなく、**組織的に取り組むことが重要**であり、学校内外に「サポートチーム」を作り、「支援委員会」（校内）やケース会議（校外）等を適時開催しながら対応をすすめることが大切です。



Q1 教職員等の間における情報共有を行う上での留意点はありますか？

A1 教職員等の間における情報共有に当たっては、児童生徒が自身の性同一性を可能な限り秘匿しておきたい場合があること等に留意しつつ、一方で、学校として効果的な対応を進めるためには、教職員等の中で情報共有しチームで対応することが欠かせないことから、当事者である児童生徒やその保護者に対し、情報共有する意図を十分に説明・相談し理解を得つつ、対応を進めることが大切です。

ポイント2：学校生活での支援について

- ・性同一性障害に係る児童生徒が求める支援は、当該児童生徒が有する違和感の強弱等に応じ様々であり、また、当該違和感は成長に従い減ずることも含め変動があり得るものとされていることから、学校として先入観をもたず、その時々**の児童生徒の状況等に応じた支援を行う**ことが大切です。
- ・当事者である児童生徒の保護者が、その子供の性同一性に関する悩みや不安を受容している場合は、**学校と保護者とが緊密に連携しながら支援を進める**ことが必要です。保護者が受容していない場合にあつては、学校における児童生徒の悩みや不安を軽減し問題行動の未然防止等を進めることを目的として、**保護者と十分話し合い可能な支援を行っていく**ことが大切です。



Q2 学校生活の各場面の支援として、具体的にどのような支援が考えられますか？

A2 全国の学校で行われた以下の取組を参考にしてください。

項目	学校における支援の事例
服装	・自認する性別の服装・衣服や、体操着の着用を認める。
髪型	・標準より長い髪形を一定の範囲で認める（戸籍上男性）。
更衣室	・保健室・多目的トイレ等の利用を認める。
トイレ	・職員用トイレ・多目的トイレの利用を認める。
呼称の工夫	・校内文書（通知表を含む）を児童生徒が希望する呼称で記す。 ・自認する性別として名簿上扱う。
授業	・体育又は保健体育において別メニューを設定する。
水泳	・上半身が隠れる水着の着用を認める（戸籍上男性）。 ・補習として別日に実施、又はレポート提出で代替する。
運動部の活動	・自認する性別に係る活動への参加を認める。
修学旅行等	・1人部屋の使用を認める。入浴時間をずらす。

※「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」（平成27年4月30日文部科学省初等中等教育局児童生徒課長通知）の別紙より

Q3 支援を実施する上での留意点はありますか？

A3 学校においては、性同一性障害に係る児童生徒への配慮と、他の児童生徒への配慮との均衡を取りながら支援を進めることが大切です。例えば、トイレの使用について、職員用トイレの使用を認めるなど、他の児童生徒や保護者にも配慮した対応を行っている例があります。



<参考資料>

- 文部科学省「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」（平成27年4月30日）
- 文部科学省「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）」周知資料（平成28年4月1日）

～みんなで食育の充実を～

学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！

「毎日しっかり朝ごはん」運動

朝から元気に活動する児童生徒の育成を目指し、平成19年度より「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。

朝食の役割や朝食摂取の食習慣の大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・高・特別支援学校に「食育カレンダー」を配付しています。また、9月からの指導に活用できるように、8月中旬に県内の全小学1年生用の食育教材「食育ランチマット」を配付しています。

「とやまゲンキッズ作戦（健康づくりノート）」の調査項目から得られる朝食欠食率に関しては、本県では継続した取組の成果が現れているものの、限りなくゼロに近付ける努力が今後とも必要です。また、「朝食内容」の栄養バランスは、全小・中学生のうち、50.2%が「黄（炭水化物）・赤（タンパク質）・緑（野菜・果物）」、44.2が「黄・赤」または「黄・緑」の朝食を摂取しており、計94.4%が体を目覚めさせ、脳を活発に働かせる「炭水化物とおかず」の組合せであることが分かりました。（令和2年度調査結果より）

今後とも、児童生徒が栄養バランスのよい朝食摂取を心がけ、朝から元気に活動できるように、引き続き指導をお願いします。



令和3年度配付食育ランチマット

<朝食欠食率（「第3期富山県食育推進計画」の目標指標）>

	策定時(H28)	現状(R2)	目標
● 朝食を欠食する子どもの割合（小学校5年生）	0.8%	→ 1.1%	→ 限りなくゼロに
（中学校2年生）	2.0%	→ 2.3%	→ 近づける

新型コロナを乗り越え、食育の推進を

新型コロナウイルス感染症対策の徹底が図られている中、各学校では、学校の実情や児童生徒の実態に合わせ、内容や方法に工夫を凝らした食に関する指導に取り組まれています。

毎年作成し、県内の全小・中・特別支援学校、県立の給食実施高等学校に配布している「食に関する指導実践事例集」（学校給食指導者作成）には、学級担任や栄養教諭等が連携した実践事例を数多く掲載しています。

- ・感染リスクに配慮した学校給食の提供
- ・給食委員会が新しいアイデアを提案し、児童生徒が主体となって行った活動
- ・食育動画を作成、活用して行った給食指導

等、コロナ禍の中でも、様々な工夫された実践が掲載されています。ぜひ、ご活用ください。

また、令和3年3月31日に第4次食育推進基本計画（令和3年～7年）が決定されました。人間が生きるためには、食は欠かせないものです。児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、健やかな心身と豊かな人間性を育むためにも、一層の食育の推進が望まれます。コロナ禍の状況下で数多くの制限がありますが、これまで以上に学校教育活動全体を通じて、主体的に行動できる児童生徒を育成するための食育を組織的・計画的に推進されますように、よろしくをお願いします。

MAKE TOYAMA STYLE

BEYOND CORONA, WITH US

ストレスチェックについて — 教職員のメンタルヘルス —

自分で心の健康状態をチェックすることは、ストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止に役立ちます。ストレスチェックを受検し、自分の健康は、まずは自分で守りましょう。 ※実施期間：令和3年7月1日～令和3年8月11日

心のセルフチェックシステムのご案内

公立学校共済組合では、教職員の方が365日いつでもできる心のセルフチェックシステムをインターネットで提供しています（利用時間 6:00～24:00）。初回の利用時は、「共済フォーラム」「福利とやま7月号」に記載されているログインID・パスワードでログインしてください。 <https://kokoronokenkou.jp/Stress/LoginPortal.aspx>

教職員・心の健康管理医による個別相談

県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、「教職員・心の健康管理医」として専門医に委嘱し、無料の個別相談を実施していますので、お気軽にご相談ください。

※利用について詳しいお問合せは、保健体育課（076-444-3460）または 公立学校共済組合富山支部（076-432-7176）まで

東京2020オリンピック聖火リレー 富山県点火セレモニー

富山県内の東京オリンピック聖火リレーは6月2日、3日の2日間で行われました。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、両日とも公道でのリレーを取り止め、初日は高岡スポーツコア（高岡市）、2日目は富岩運河環水公園横親水広場（富山市）の特設ステージで点火セレモニーを開催しました。

公道でのリレーが取り止めたことは大変残念ではありますが、セレモニーでは、ランナー179名の皆様がそれぞれの大切な想いを込めて、「希望の道」を照らす聖火を「トーチキス」方式により笑顔でつなぎました。

全国47都道府県を巡る聖火は、7月23日の東京オリンピック開会式で国立競技場の聖火台に点火されます。



第70回富山県民謡民舞大会「ふるさと民謡民舞まつり」

- 日時** 令和3年11月7日(日) 12:30開演 (12:00開場)
場所 富山県教育文化会館 ホール(富山市舟橋北町7-1)
主催 富山県民謡民舞連盟(生涯学習・文化財室)
 (一社)富山県芸術文化協会

入場
無料

富山県民謡民舞連盟では、設立70年を記念する富山県民謡民舞大会を開催します。

大会では、県内に伝承されている民謡民舞が一堂に会し、日頃の練習成果を発表するだけでなく、大会のオンライン配信もあわせて実施します。詳しいお問合せは、連盟事務局(生涯学習・文化財室 TEL:076-444-3456)まで。ぜひ、ご覧ください。



過去の大会より

とやまのユネスコ無形文化遺産サミット

- 日時** 令和3年11月6日(土) 13:30~16:00
場所 ウイングウイング高岡(高岡市末広町1-7)
主催 とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会
 (生涯学習・文化財室)

入場
無料

今年度は、本県の「高岡御車山祭」「魚津タテモン祭」「城端曳山祭」を含む全国33件の曳山行事が「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録5周年に当たることから、3行事の保存、継承に向けた課題等について、関係者が一堂に会して議論を深め、山・鉦・屋台行事の価値を再認識し、次世代への継承につなげるサミットを開催いたします。



高岡御車山祭 勢揃式

インフォメーション

場所 内容 対象 募集人数 応募要領
 募集締切 参加料 HP ホームページ 問い合わせ

随時
受付

富山県埋蔵文化財センター

☎076-434-2814

出前授業・来館学習

期日 7/16、9/27~10/7、1/28~2/4、年末年始(12/28~1/4)以外の平日、金曜休館

☑出前授業では小中学校等に出向き、本物の土器や石器に実際に触れ、とやまの歴史を学びます。希望に応じて火起こしや勾玉作りなどの体験も実施します。来館学習も同様に随時受け付けています。(金曜日は応相談)



出前授業

入学生
募集

放送大学富山学習センター

☎0766-56-9230

令和3年度10月入学生の募集

期間 6月10日(木)~9月14日(火)(インターネット出願可)

☑放送大学は、インターネット等を通じて、働きながら1科目から学べる通信制大学です。上位免許や特別支援学校教諭免許状等を取得するための科目も開講しています。



インフォメーション

場所 内容 対象 募集人数 応募要領
 募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

入館
無料

富山県埋蔵文化財センター

☎076-434-2814

特別展「珠・玉・球ー私たちが魅了する たま とはー」

期日 令和3年10月8日(金)～令和4年1月27日(木)

因「たま」は、縄文時代から古墳時代にわたって富山県の特産品でした。玉作りに関係する資料をはじめとした富山県の「たま」の歴史を紹介するだけでなく、私たちが魅了してきた「たま」を展示し、「たま」の魅力に迫ります。



玉類【江上A遺跡】

申込不要
入場無料
(大型講座のみ
有料・要申込)

富山県生涯学習カレッジ本部

☎076-441-8401

第33回 県民カレッジ学遊祭

期日 10月2日(土) 9:00～16:30

所 富山県教育文化会館

因 県民カレッジの講座受講者、生涯学習団体および一般県民が一堂に集い、学習成果の発表や展示を行います。13時より大型講座（「大コメ騒動」上映会、本木克英監督講演会）を開催します。（9月上旬申込開始予定）感染防止対策のためマスク着用でのご来場をお願いします。

☎ 富山県生涯学習カレッジ本部 076-441-8401

HP <http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>



令和2年度開催風景

入場
無料

富山県生涯学習カレッジ富山地区センター

☎076-441-0301

令和3年度県民カレッジ富山地区センター学遊祭

期日 11月6日(土) 9:00～17:00

因 展示発表、映写会を予定

雄峰高校「学園祭」と同時開催予定です。生涯学習団体等の作品や活動報告を展示します。なお映写会（映画）の鑑賞を希望される方は、事前にご連絡ください。感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。



令和2年度開催風景

入場
無料

富山県生涯学習カレッジ新川地区センター

☎0765-22-4001

第21回 新川キャンパスフェスティバル

期日 10月30日(土)

因 社会人受講者と新川みどり野高校の生徒が、学習の成果を展示・発表します。現在、特別企画を準備中です。お楽しみに!!感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。

所 新川みどり野高等学校 県民カレッジ新川地区センター



令和2年度 展示の様子

入場
無料

富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター

☎0766-22-5787

令和3年度 ウイング・ウイング祭

期日 10月29日(金)～30日(土) 9:00～17:00

因 高岡駅前の複合ビル「ウイング・ウイング高岡」に入居する県民カレッジ高岡地区センターや高岡市生涯学習施設等が連携して開催。学習成果の展示等を行います。感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。



展示発表（令和2年度）

入場
無料

富山県生涯学習カレッジ砺波地区センター

☎0766-61-2020

第21回となみキャンパスフェスティバル

期日 11月6日(土) 9:00～15:30

因 となみ野高校生と社会人受講者の学習成果を作品展示等で発表します。その他、砺波地区生涯学習団体や当センターの活動紹介展示、DVD上映などを行います。感染防止対策のためマスク着用でのご来場をお願いします。



令和2年度開催風景

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

「自分大好き 友達大好き 学校大好き 鵜坂っ子」 ～夢創造で未来へ羽ばたこう！～

富山市立鵜坂小学校



富山市立鵜坂小学校は、富山市の南西部、富山平野のほぼ中央にあります。明治時代から続く歴史のある小学校で、明治6年に分田小学校・巒田小学校として創立され、明治22年に鵜坂小学校となり、現在に至っています。校区には、大伴家持が詠んだ売比河（めひがわ）の歌碑があり、古くから神通川流域の静かな田園地帯であり、近年は宅地化が進んでいます。

鵜坂小学校では、“郷土を愛し社会性を身に付け共に学び合う子供”を目指し、「知・徳・体」のバランスのとれた教育に取り組んでいます。

木曜日の1限は全校読書の時間とし、読み聞かせ、聴き合いタイム等、本に親しむ活動を積極的に取り入れ、豊かな心を育む取組みを進めています。また、健康な体づくりにも力を入れており、平成31年1月には「富山県教育委員会富山県健康実践優良学校」「富山県教育委員会富山県学校給食優良学校」に選ばれています。また、令和元年12月には「全日本なわとびかっつとび王選手権2019決勝大会少人数部門」で優勝しています。

鵜坂小学校は5年前からプログラミング学習に取り組んでいます。令和元年度は富山市教育委員会からモデル校に指定され、地域連携を生かしたプログラミングをテーマにした授業のあり方を研究してきました。プログラミング学習の内容は、学年ごとに系統的に計画されています。6年生では、学習の集大成として「共に生きる～ハッピーライフプロジェクト」という課題に取り組み、「これからの社会に必要なプログラミングされたロボットを考える」ことを通して、プログラミングが自分たちの生活と密接に関係していることを学びます。



長さを測って相談する児童



シェアタイムで友達の車を見ている児童



お話ワールド



スポーツフェスティバルの様子

訪問当日は、4年生のプログラミング学習が行われていました。地元公民館でロボット教室を開いているボランティア講師の方が、「長さはどれくらいかな?」、「どう動かせばいいかな?」、「どんどんチャレンジしよう」など、にっこり笑いながら児童たちに考えるヒントを語りかけていました。児童たちは、自分たちで長さを測って相談したり、何度も動作の確認をしてプログラミングを修正したりするなど、試行錯誤を繰り返しながらよりよいものになるよう、時間いっぱい挑戦していました。授業の最後にはシェアタイムとして、プログラミングした車の発表会が行われました。「ミッションクリア」、「すごい」、「おいしい」など、児童一人ひとりがクラスメイトに声をかけていました。発表が終わる毎に温かい拍手が送られている様子が印象的でした。授業の前には、担任と講師がよく相談して、児童一人ひとりにきめ細やかな指導ができるよう準備を整えているとのことでした。

鵜坂小学校の先生方は、児童たちが「自分も友達も学校もみんな大好きな鵜坂っ子」になることをいつも願いながら、日々の教育活動に取り組んでおられるとのことでした。先生方の優しいまなざしと児童への穏やかな声かけがとても印象的でした。

第38回「とやま賞」贈呈式

第38回「とやま賞」贈呈式が5月20日(木)富山電気ビルで行われ、学術研究等で顕著な業績を挙げた研究者等を称え、新田富山県知事が賞状と奨励金の目録を贈呈しました。贈呈式後には受賞者による記念講演が行われ、業績の内容や今後の抱負などを分かりやすくお話しいただきました。

「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られます。詳しくは(公財)

富山県ひとつり財団ホームページをご覧ください。<http://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/>



第38回「とやま賞」受賞者(敬称略、五十音順)

学術研究部門(医薬分野) 今村 輝彦(富山大学)、木下 雅史(金沢大学)
(理工分野) 小池 隆司(日本工業大学)、小山 靖人(富山県立大学)
文化・芸術部門(現代短歌) 黒瀬 珂瀾(僧侶)



リレー エッセイ

「ピンチをチャンスに」

富山県教育委員会 教育参事・県立学校課長 佐野 友昭

新型コロナウイルスの勢いが止まらない。変異ウイルスによるさらなる感染拡大も懸念される。一方でワクチン接種が進み、今後の状況の変化に期待がもてるものの、いまだ不透明なところもあり、収束までにはまだ時間がかかりそうである。

学校においては、昨年3月から約3か月にわたる臨時休校があった。感染拡大防止の徹底を図り、学校は再開したものの、今年度も教育活動において、これまでの日常とは異なる対応が求められている。学校も新型コロナによるピンチに直面しているが、このような状況下でも、例えば学校行事において、児童生徒が内容や運営方法を工夫して実施し、そのねらいを達成した事例も耳にする。また、コロナ禍の中、児童生徒の学びの保障の観点も踏まえ、GIGAスクール構想が前倒しになり、児童生徒一人一台端末などICT環境整備が急速に進められていることも、目の前のピンチをチャンスに変えた一例とも言える。

現在、この事態に直面し、卒業式の校長式辞の中で、卒業生に「ピンチをチャンスに」とのメッセージを贈ってきたことを思い出す。その際に、アメリカの詩人ウィルコックスの誌「運命の風」の一節「同じ風を受けていながらある船は東に進み、またほかの船は西に進む。行くべき道を決めるのは疾風ではなく帆のかけ方なのだ。海の風は運命の風のように。生涯という海路をたどるとき、ゴールを決めるのは凧か嵐ではなくそれは魂の構えだ。」を引用したが、今こそ、逆風を帆のかけ方で追い風にするような心構えや実行力を自分自身が持たなければと気持ちを引き締めている今日この頃である。



■執筆者プロフィール

砺波市出身
県教委指導主事、南砺福野高校教頭、県教委県立学校課主幹、
八尾高校長、小杉高校長を経て令和2年4月から現職